

一般社団法人 日本物理学会
第 79 期物理学史資料委員会（2023 年 4 月～2024 年 3 月）活動報告

委員長： 有賀 暢迪

副委員長： 渡辺 雅之

委員： 小長谷 大介、佐々木 孝彦、所澤 潤、高岩 義信、多久和 理実、棚橋 誠治、
難波 忠清、林 春雄、岡本 拓司（担当理事）

1. 委員会の開催

以下の通り、5 回の会議を開催した。

第 121 回：2023 年 6 月 24 日（土）13:00～16:30 [Zoom 開催]

第 122 回：2023 年 9 月 24 日（日）13:00～16:00 [Zoom 開催]

第 123 回：2023 年 11 月 4 日（土）10:00～11:30 [Zoom 開催]

第 124 回：2023 年 12 月 23 日（土）13:30～16:00 [Zoom 開催]

第 125 回：2024 年 3 月 3 日（日）10:00～12:10 [Zoom 開催]

2. 資料および資料保存機関の情報の収集と発信

『日本物理学会物理学史資料委員会ニュース』を次の通り発行した（ウェブサイト掲載）。
No. 6（2023 年 10 月 31 日）、No. 7（2024 年 4 月 15 日）

3. 「年表」の更新

・本会の『年表』（第二版）Web 版に、2012～2016 年の情報を追加して公開した。

4. 本会保存資料の整理と活用

・事務局に保管されている個人資料の一部について、整理と調査を実施した。
・「日本物理学史資料利用細則」の一部改正をおこなった。

5. 本会創立 150 周年（2027 年）に向けた事業の検討

a. 学会史

・『日本物理学会誌』での「学会の歩み 150 年」連載について、
「学会 150 年史連載編集グループ」を設置し、具体的な執筆準備に着手した。
・『大学の物理教育』誌での「日本の物理教育 150 年」連載を継続しておこなった。

b. オーラルヒストリー

・すでに実施した 2 名のインタビュー記録の保存と公開に向けた作業を継続した。
・新たに 1 名を対象としてインタビューを実施した。

c. 資料・データベース

- ・資料情報データベースの構築に向けて、記述フォーマットの試作をおこなった。
- ・「物理遺産」(仮)の事業提案を作成し、理事会に提出した。

6. その他

- ・山形県立酒田東高校から問い合わせのあった古い実験機器について、専門家を派遣して現地調査をおこなったうえで、保全に関する助言をおこなった。